

1. 大学院学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

聖心女子大学大学院の修了生には、「一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心（みこころ）に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを深める」という建学の精神を体現する女性として自己の人格を磨くとともに、次のような能力と資質を身につけることが求められます。

（1）修士課程・博士前期課程

- 1 専攻する学問分野を中心とする、広い視野に立つ精深な学識
- 2 研究倫理の遵守と、専攻分野に関する適切な研究方法に支えられた高度な研究能力
- 3 専攻する分野において自ら課題を見出し、柔軟な思考力と、的確で総合的な判断力によって、課題を解決する能力
- 4 独自性のある研究成果を導き出し、それを精確に発信する力
- 5 多様な他者を尊重しつつ、能動的に関わり、協働する態度
- 6 自らの研究と専門性を基礎に、グローバル化する社会の諸問題を理解し、その解決をつうじて地域および国際社会に貢献する力
- 7 生涯にわたり、知的、学問的関心を発展させ、主体的に探究し続ける姿勢

修士の学位は、2年以上在学し、所定の方法により30単位以上修得し、かつ研究指導を受けて修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格することによって授与されます。

（2）博士後期課程

博士後期課程では、上記（1）1～7に加えて、次のような能力と資質を身につけることが求められます。

- 8 専攻する学問分野を中心とする、該博にして精深な学識
- 9 独創性ある研究者として自立した研究を行い得る能力
- 10 専攻する学問分野の発展に寄与し、他の研究者と協働できる力
- 11 修めた学業に基づき、社会において高度に専門的な業務を遂行し得る能力

博士の学位は、3年以上在学し、所定の方法により10単位以上修得し、かつ研究指導を受けて博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格することによって授与されます。

（2017年10月10日更新）